

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成24年11月8日(2012.11.8)

【公開番号】特開2011-141508(P2011-141508A)

【公開日】平成23年7月21日(2011.7.21)

【年通号数】公開・登録公報2011-029

【出願番号】特願2010-26285(P2010-26285)

【国際特許分類】

G 03 F 7/038 (2006.01)

G 03 F 7/00 (2006.01)

G 03 F 7/075 (2006.01)

【F I】

G 03 F 7/038 501

G 03 F 7/00 503

G 03 F 7/075 511

【手続補正書】

【提出日】平成24年9月21日(2012.9.21)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

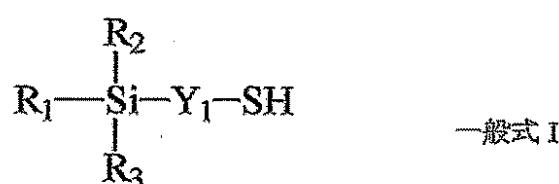
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

支持体及びその上に形成された光硬化性感光層からなり、該光硬化性感光層が、少なくとも下記一般式Iで示される化合物を用いて合成され、かつ側鎖に重合性二重結合基および、カルボキシル基およびスルホン酸塩基の少なくとも一つを有するポリマーを含有することを特徴とする感光性平版印刷版材料。

【化1】

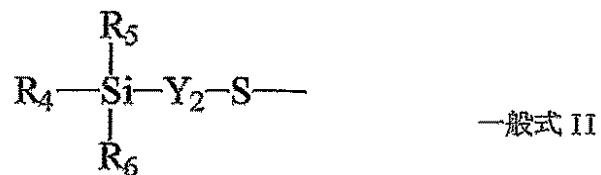


(式中、R₁、R₂およびR₃は各々独立して、炭素数1～10のアルキル基またはアルコキシ基を表す；但し、R₁、R₂およびR₃のうち少なくとも2つはアルコキシ基を表す；Y₁は炭素数1～10のアルキレン基を表す。)

【請求項2】

前記ポリマーが、主鎖末端に下記一般式IIで示される基を有し、側鎖に重合性二重結合基および、カルボキシル基またはスルホン酸塩基を有するポリマーである請求項1記載の感光性平版印刷版材料。

【化2】



(式中、R₄、R₅およびR₆は各々独立して、水酸基、炭素数1～10のアルキル基またはアルコキシ基を表す；但し、R₄、R₅およびR₆のうち少なくとも2つは水酸基もしくはアルコキシ基を表す；Y₂は炭素数1～10のアルキレン基を表す。)

【請求項3】

前記ポリマーが、ポリオルガノシロキサン構造を有するユニットと、側鎖に重合性二重結合基および、カルボキシル基またはスルホン酸塩基を有するユニットとが、硫黄原子を介して結合しているポリマーである請求項1記載の感光性平版印刷版材料。